

令和7年度 第1回学校運営協議会議事録

日 時	令和7年4月23日(水) 14:00~15:30
開催場所	下野市立南河内第二中学校 会議室
参加者	<p>〔学校運営協議会委員〕</p> <p>おおもり ゆきこ こすぎ まりこ こだま かずみ ちかざわ ゆきお はやし こういち 大森 由貴子 小杉 満理子 兒玉 和実 近澤 幸雄 林 宏一</p> <p>まわけ よしはる あきやま たかこ かさの やすお 真分 喜治 秋山 貴子 笠野 安雄</p> <p>〔地域学校協働活動推進員〕</p> <p>えびはら ただし 海老原 忠</p> <p>〔事務局〕</p> <p>なかざと あつし 中里 篤</p> <p style="text-align: right;">(10名)</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校長あいさつ 2 任命書交付・自己紹介 3 地域学校協働活動推進員の紹介 4 学校運営協議会の趣旨等の確認(教頭) 5 会長・副会長の選出 6 今年度の学校経営の基本方針の説明及び承認(校長) 7 協議 <ol style="list-style-type: none"> (1) パワーアップアクションプランについての提案(地域連携教員) (2) 今年度の学校運営協議会年間計画について(教頭) (3) 情報交換 8 連絡・その他
議 事 中 里 秋 山	<p>・ただ今から、令和7年度第1回学校運営協議会を始めます</p> <p>【1 学校長あいさつ】</p> <p>・改めまして皆様、こんにちは。本日はご多用の中、お足下の悪い中、学校運営協議会にご出席いただきありがとうございます。4月に下野市立古山小学校からこちらの学校に異動してまいりました、秋山貴子と申します。どうぞよろしく申し上げます。南河内第二中には17年前に1年間だけ勤務したことがございます。その後、3年前まで祇園小学校の方に2年間勤務していた経験があります。3年ぶりに南河内第二中学校区に勤務することになり、とまどいやら、うれしさやら、不安やらが入り交じっている状況です。前任の田澤先生のようにパワーがあったり、見識が深かったりするわけではなく、コツコツと地道に職務を遂行してまいりたいと思いますので、どうぞ</p>

	<p>よろしくお願いします。4月になってから2週間経ちまして、子どもたちも元気に登校しております。若干休む子はいるものの、完全に休んでいるという状況の子はいません。そして、本校部活動の地域移行が進んでおりまして、サッカー部、剣道部、卓球部、吹奏楽部の4つの部が昨年度地域移行を済ませております。また、拠点校の部活ということで、南河内第二中学校から南河内小中学校の野球部の方へ1名、南河内小中学校から本校バスケ部に入りたいという子が1名ということで、在籍は違いますが、部活動はそれぞれの学校で行うということになっています。まだ、もう1名ぐらいいるかもしれませんがはっきりしておらず、現在の所2名ということになっています。改廃部に関しても、今後市の規定に則りながら、進めていかなければならない状況になっています。本日は、本年度の初めての学校運営協議会ということもあり、学校経営の基本方針を説明させていただき、皆様に様々なご意見をいただきながら、進めていければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
中 里	<p>【2 自己紹介】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは、第1回ということですので自己紹介、その後任命書交付という流れで進めていきたいと思えます。 <p><1人ずつ自己紹介></p> <p><代表で真分喜治様に任命書交付></p>
中 里 海老原	<p>【3 地域学校協働活動推進員の紹介】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・続きまして、地域学校協働活動推進員の紹介ですので、今年度務めてくださる海老原忠様の方からお願いします。 ・今年度より、地域学校協働活動推進員となりました海老原と申します。昨年度までは南河内小中学校の方にいたのですが、退職しまして、地域と学校をつなぐお手伝いできればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。この地域は、緑小にも祇園小にも二中にも勤務したことがありますので、どうぞよろしくお願いいたします。
中 里	<p>【4 学校運営協議会の趣旨等の確認（教頭）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の学校運営協議会運営マニュアルをご覧ください。何回かお勤めになっている方はおわかりかと思いますが、初めての方もいますので、時間をいただいて簡単に説明したいと思えます。まず、3ページをお開けください。ここに、学校運営協議会の趣旨というのが出ています。少し前までは学校評議員となっていたのですが、学校評議員は校長の求めに応じて個人として意見を述べ、その意見を学校は参考にするということだったのですが、学校運営協議会となりまして、学校の課題や目標を共有した上で、合議によって学校運営等について意志決定を行う場ということで、運営委員会の皆様の権限が強まった形になっています。地域に開かれた学校から地域と共にある学

校ということで、それを目指して活動していただくこととなります。4ページには1年間の流れが出ていますので、ご覧ください。5ページにいきたいと思います。協議会の委員ですが、10名以内ということになっています。委員としては保護者、地域住民、設置学校の運営に資する活動を行うもの、校長、教職員ということになっています。委員の任期は1年ですが、再任も可ということになります。この後、会長と副会長を決めていただきますが、委員の互選によって選出することになります。続いて7ページになります。この後、学校長から学校経営の基本方針に関する話がありますので、それに関して承認をしていただくという流れになります。更に8ページは、いろいろ学校運営等に関する意見の申し出ということで、運営委員会の中で協議が行われますが、その際に積極的に意見を出していただいて、これをもとに学校運営をしていきたいと考えています。続きまして9ページになります。学校運営等に関する評価ということで、1月26日に第6回学校運営協議会があるのですが、学校評価を保護者とか生徒、先生方にしてもらおうのですが、それをもとにいろいろ話し合うこととなります。そこで意見を出していただければと思います。情報の公開ということになりますが、学校運営協議会の議事録を笠野の方がまとめて、毎回ホームページに公開しておりますので、見ていただければと思います。大まかに説明しましたが、よろしくお願いします。

【5 会長・副会長の選出】

中 里

・委員の皆様の中からの互選ということになりますが、やっていただける方がいらっしゃればお願いしたいのですが、どうでしょうか。

<会長：小杉さん、副会長：林さんに決定>

【6 今年度の学校経営の基本方針の説明及び承認（校長）】

中 里

・今年度の学校経営の基本方針の説明及び承認ということで、校長の方から説明させていただきます。

秋 山

・学校概要と学校経営の説明をさせていただこうと思います。

・本校創立32年目になります。平成6年4月1日に南河内町立南河内中学校より分離することにより開校になりました。年度内に校章、校旗、校歌が制定され、平成12年には学級数増加により教室が足りないということで6教室増築になっています。平成18年に市町合併により校名が変更になり、平成30年にこの学校運営協議会が設置されております。このたび研究学校を実践し、数多くの賞を受賞している状況でございます。近年の学校としましては、令和2年に校庭全面改修、そして令和3年には健康づくり推進学校の全国優秀校受賞、令和5年には創立30周年記念式典、昨年の令和6年は子ども読書活動推進学校の文部科学大臣表彰を受けています。また、昨年11月にトイレ改修工事が進み、とても心地よいトイレになっております。生徒の状況で

すが、令和7年度は239名、学級数は特別支援学級知的・情緒を含めて11学級、PTA会員数が220名です。ご覧の通り、男子と女子の数に結構な差がありまして、男子が多いという状況になっています。生徒数の推移です。316名からスタートした本校ですが、グリーントウンの整備とともに生徒数が増え、増築があり、平成15年度は650名のピークを迎えました。それ以降はだんだんと減少し続け、現在239名となっております。これはもう少し減っていくことになりそうです。教職員の状況です。校長、教頭の他教諭18名、講師、養護教諭、主事、ALT、学校栄養士、学校支援員、市教育業務支援員等を含めて29名、また、初任者指導教員・新採研修後補充、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを含めると32名となっております。年齢的には、割と20代が少ないというのが正直なところですが、ベテラン教員がこれだけおりますので、安定した学校経営が送れるのではないかと考えているところです。地域・保護者の実態は、皆さんの方がお詳しいと思いますが、自治医大駅近くにあり大都市・県外に通いやすく、学校周辺には銀行、郵便局、病院、公園に囲まれていますし、地域住民としては暮らしやすい良好な環境が揃っていると思います。医療関係者、研究職、公務員等も多く住んでおり、都内に通勤している人も多いようです。他地区出身の家庭が多いですが、学校教育に関しては関心が高く、保護者・地域住民の皆さんは学校の教育活動に協力的だと思われまます。登下校のほとんどが徒歩通学です。154名です。ですが、自転車通学が80名、また遠距離で23kmのため保護者送迎や電車通学の生徒も一部在籍しております。近年、家庭の教育力の差が見られるようになってきました。もう一つ生徒の実態です。生徒は素直で活動的です。運動能力が高い生徒も多くいるようです。高い学力の生徒も多いですが、学力格差が見られています。自分に自信が持てず、自己有用感が低かったり、人間関係形成力も低かったりする生徒が多い。これは田澤先生から聞いています。以前は文武両道を掲げて、部活動強豪校として知られている時代もありましたが、生徒数の減少と共に県大会出場が減少傾向にあるという実態があります。また、全国学力・学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査については、学年により差はありますが、各教科とも全国平均を上回っています。これは、また後で説明させていただきます。調べたい、知りたいなどの学習に関する意欲があつて、友達と協力して学習するなど、知的好奇心や学習意欲が旺盛かと思えます。また、体を動かすことが好きな生徒も多く、よく昼休みに生徒は外で遊んでいます。また、偏食傾向は栄養士から話を聞いたところ少ないといわれていますが、アレルギー対応の生徒は現在7名です。

・ここから学校経営の方針です。学校教育目標は、『人間性豊かで、意欲あふれる中学生』知・徳・体の調和のとれた教育で「生きる力」を育成ということで、自ら考え学

ぶ生徒（確かな学力）、思いやりのある生徒（豊かな人間性）、体力と気力をきたえる生徒（健康・体力）ということで、これは引き継がれているものです。校長が変わってすぐに変えることではないと思っておりますので、教育目標については本年度も引き続きということです。目指す生徒像に関しては、「主体的に考え、学び合いを通して互いに高め合える生徒」「思いやりの心を持ち、自他を大切にできる生徒」「健康に関心を持ち、体力向上に励む生徒」「社会に貢献し、地域に主体的に参画しようとする生徒」を目指す生徒像としております。目指す学校像は、「学び合い、活力のある学校」「自他の良さを認め合える居がいのある学校」「一人一人が目標に向かって精一杯頑張る学校」「安全・安心で豊かさのある学校」「保護者・地域と連携し信頼される学校」としてあります。目指す教職員像はこちらに記している通りです。皆様のおてもとにあります学校概要、それから本日の資料にも載せておりますので、どうぞよろしくお願ひします。経営方針としては、学校は学ぶことの喜びを味わう場だと考えております。生徒が集団生活を通して人間関係を培いながら育ち合う場でもあります。全教職員で全生徒を育てるという共通認識を持ち、安心安全な人的・物的教育環境を整えたいと思います。また、互いに切磋琢磨しながら、自ら資質能力を向上し遂げると共に、安全だけでなく学力向上つながりにも重点を置いて学校経営にあたりたいと思います。特に、子どもが通いたくなる学校、保護者が通わせたい学校、教職員が勤務したくなる学校、地域と共にある学校にしていこうと考えております。方針としましては今のものをもとに6つ考えております。「特色のある学校づくりに努める」「学ぶ楽しさを実感できる授業実践に努める」「触れ合い、喜びの実感できる学級・学年・学校行事を実施する」「健康で豊かに生きる喜びを実感できる学校生活を目指す」「家庭、地域とのつながりを実感できる教育活動に努める」「教育専門職としての職の能力の向上に努める」と方針を6つ定めております。「特色のある学校づくりに努める」ということについては、「質の高い授業の実践」「小中一貫教育の推進」「地域との連携の推進」「特別教育の充実」「健康・安全教育の推進」ということで、これについては田澤校長先生が昨年の内に考えておいてくださったものをそのまま継承させていただいております。「学ぶ楽しさを実感できる授業実践に努める」ということに関しては、「小中の学びをつなぐ授業づくり」「学業指導の充実」「活用力・探究力の育成」「主体的・対話的深い学び」「家庭との協力体制づくり」を挙げています。「触れ合い、喜びの実感できる学級・学年・学校行事を実施する」にしましては、「道徳科の授業の充実」「情報社会に参画する情報活用能力と情報モラルの習得」「読書活動の充実による読書の奨励」「全校体制による組織的な対応」「二中を誇りに思う心の醸成」を考えております。「健康で豊かに生きる喜びを実感できる学校生活を目指す」ということに関しては、「学校保健・給食委員会の充実」「外遊びや体力づくりの奨励と運動量を確保した

授業の実践」「困難を乗り越えるたくましさ」「キャリアパスポートの活用」「自分の命を守る生徒」としています。「家庭、地域とのつながりを実感できる教育活動に努める」ということでは、「SDGsの考えを取り入れた教育活動の推進」「地域のイベントや祭りへの直接的・間接的参加を通じた地域の方々との交流」。「教育専門職としての職の能力の向上に努める」ということでは、これらのことを考えております。こちらが先ほど途中になりました、とちぎっ子学習状況調査に関する結果です。南河内二中に関しましては、栃木県の平均を大きく、もしくはおおむね越えています。理科に関しては同じくらいということで、すべての教科で県平均を上回っている状況になっております。こちらが全国学力・学習状況調査についてです。こちらも南河内二中においては、2教科とも県や全国平均を上回る状況になっております。全国学力・学習状況調査の生徒質問紙からですが、「朝食を毎日食べている」「新聞を読んでいる」これが上回っているものです。「わからないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分で学び方を考えて工夫することができる」「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して調べたことを発表するなど、学習活動に取り組んでいる」「自分の考えを発表する機会は、自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表し、課題の解決に向けて自分から取り組んだ」が上回っています。ただ課題としては、「自分の将来の夢や目標をもてない」「自分に良いところがあると思えない」「学校に行くのが楽しくない」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っていない」というところがあります。また、教職員の働き方改革に関する取組として、「6分早めに帰ろう」と部活動の時間の見直しで「5時45分終了、6時完全下校」「月曜日・水曜日の部活なし」を令和6年度9月から取り組んでいます。他の学校では「生活ノート」がありますが、本校ではiPadでGoogle classroomを活用したり、心の健康観察アプリを使ったりしてやり取りしています。また、健康観察簿とうのがありましたが、教職員が持っているシステムで対応しています。また、3年生の卒業後には5時間日課を実施するという働き方改革の取組を行いました。（生徒の様子を写真で紹介）生徒たちが通いたくなる学校、保護者が通わせたい学校、教職員が勤務したくなる学校、地域と共にある学校を目指して学校経営していきたいと思っております。以上で説明を終わりにします。ありがとうございました。

中 里

- ・ただいまの説明について、何か質問等あればお願いします。（質問なし）
- ・今の基本方針について承認いただける方は拍手をお願いします。（拍手）
- ・ありがとうございました。承認されました。私の方で承認に関する報告書を記入して提出したいと思います。
- ・この後、協議ということになります。司会を小杉さんの方をお願いしたいと思います。

小 杉	<p>【7 協議（1）パワーアップアクションプランについての提案（地域連携教員）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この議題にそって進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。まず1番目にパワーアップアクションプランについて、地域連携教員の先生よろしくお願い致します。
笠 野	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーアップアクションプランについて説明します。このパワーアップアクションプランは、学校、子ども、家庭、地域が、連携・協働し地域とともにある学校をめざした企画書です。パワーアップアクションプランの赤字の部分が去年と変わったところで、二重丸が重点項目になります。各教室にも掲示しており、子どもたちも常に確認することができます。 ・まず1つめは、「自ら考え学ぶ生徒」、つまり学力に関してです。赤字で示してあるように今年度は、「実践的・体験的な学習活動のある授業の実践と効果的なグループ活動の導入」に力を入れていきたいと考えています。昨年度から小中一貫教育のテーマを「聞いて考える力の育成」として取り組んでおり、聴き合う活動を通して自分の考えを深めていけるように努めていきます。また、小中一貫教育の学習指導チームの活動である「タイピング能力の育成」を含めた基礎的な技能の習得を図るために、ICTを最大限に活用していきたいと考えています。 ・2つめは、表の2段目にある「思いやりのある生徒」です。生徒の心を耕すという目的で、今年度も学校図書館の活用を推進し、読書活動に積極的に取り組んでいく予定です。昨年度もお伝えしましたが、本校は、子どもの読書活動優秀実践校として評価され、文部科学大臣表彰を受賞しました。その賞に恥じぬよう、読書活動の推進に取り組んでいきたいと思っております。また、日々の活動や学校行事等において、自己肯定感や自己有用感を高めていく取組を実践することで、思いやりのある生徒を育てていきたいと考えています。 ・3つめの「体力と気力をきたえる生徒」についてです。保健体育の授業での実践はもちろんのこと、外遊びや体力づくりを学校として推奨していきたいと思っております。また、小中一貫教育の健康チームでは、「からだ WEEK」を設定し、小中で連携し立腰指導や二中学区体操の実践、体力向上チャレンジに取り組んでいます。 ・4つめは、「地域とともにある学校」についてです。現在、「すぐる」を使ったメール配信システムを利用し、各種便りを家庭にデータ配信しています。これにより、子どもから保護者に学校からの通知が届かないという問題が解消されるとともに、ペーパーレス化も進み、紙代の大幅削減につながりました。また、今年度の夏椿祭も地域の方々や小学生にも参加していただくなど、地域一体となった学校行事をより進めていきたいと考えています。更に、地域が主催する「エコライフ祭り」等の参加・協力も積極的に呼びかけ、地域住民の一員としての自覚をもたせていきたいと思いま

	<p>す。また、2年生の社会体験学習では、30ぐらいの事業所にお世話になりました。幼稚園や図書館、地元の小売店、FMゆうがおなど様々な職種で体験学習を実施できました。今年度も地元のたくさんの事業所にお世話になることとなりますので、よろしくをお願いします。</p>
小 杉	<p>・昨年までやっていた方は見たことありますが、いきなりこれを見ても量が多いのですぐにご意見といってもなかなかないかもしれませんが、何かあればお願いします。</p>
兒 玉	<p>・感想になってしまいますが、話を聞いていると窮屈な感じがしてしまって、もう少し気を抜ける場所があってもいいのかなと思いました。</p>
小 杉	<p>・去年までのことを大事にして、それにプラスαしていくとだんだん増えていく傾向にあるのかなと思います。一番は生徒が楽しく生活できることで、校長先生の説明で衝撃的だったのは「いじめは絶対いけないと思っているわけではない」という内容で、大人が教えていかなければならないことがあると感じました。少なくとも、授業は楽しくないけど学校は楽しいと思ってもらえるとうれしい。地域の住民としてみると、比較的よくやっているなという印象で、生徒たち頑張っていると思います。</p>
大 森	<p>・これができあがっている中には、すでにお子さんたちができていることもあります。実際、朝の読書活動やあいさつ運動もしているし、福祉委員のペットボトル回収などもしています。秋には小学生と一緒にクリーン活動を通して、中学生が主体となって動いている姿を見ると、地域としても落ち葉拾いを一緒にやろうと思います。実際にやっている内容は、そんなに堅苦しいことではないと思います。</p>
秋 山	<p>・多くの学校がやっていることで、本校だけががっちりというわけではなく、文字ばかりで説明してしまったからなのかなと反省しています。子どもたちはそんなにがちがちではなく、主体的ですし、自分で考えを持って動いています。</p>
大 森	<p>・吹奏楽部の地域移行の件で関わらせていただいて、はじめは自分の考えを言えなかった子たちが、だんだんといえるようになっていき、頑張っているのかなと思いました。</p>
小 杉	<p>・今の子どもたちは、小学校の高学年頃からコロナになって、しゃべってはいけないみたいな雰囲気の中過ごしてきて、友達作りもあまり上手にできない子どもが増えてきた年代ですが、声が小さい子もいますがあいさつもできます。ただ、家庭での差が出てきているということが心配で、保護者の方が忙しすぎて面倒が見られない、中学生ならできるでしょという感じで放任してしまう状況が見られています。下野市はいじめに関して継続調査していますが、それはとてもいいなと思っていて、3ヶ月くらい継続指導していくことで子どもたちは理解していくと思います。そういうことを学校がやってくださっているということで、保護者の立場から見ても、安心してお願いできる学校・市だと思います。</p>

大 森	・兒玉さんがいうのは、子どもたちの学級にも同じものが貼ってあるということですが、子どもたちにはもっと分かりやすい表現のものがいいということだと思います。
秋 山	・次年度に向けて、改善していきたいと思います。
大 森	・これを保護者にも伝えていけたらいいなと思います。 ・安全面の所で、他の学校に比べるとヘルメット着用率が悪いと思います。危ないのでヘルメットの着用に関しては指導していただきたいです。全員が自転車通学じゃないので、ヘルメットを持ってない子もいるので難しいと思いますが。命を守ることを最優先して指導していただけたらと思います。
兒 玉	・タイピングをしましょうというのはどこかで決まっているのですか。
秋 山	・市の小中一貫の取組としてタイピング力の向上を掲げていて、各中学校区でどのように進めていくかを話し合っていて進めています。小学校・中学校でどのくらいまでできるようにするかを考えています。
兒 玉	・SDGsについて触れていますが、その具体的な内容項目もわかるようにするのいいと思います。
小 杉	・その何番の内容なのかを明記した方が分かりやすいってことですね。
	【7 協議（2）今年度の学校運営協議会年間計画について（教頭）】
中 里	・このような協議会が行われるのが、1回目・3回目・7回目・8回目の4回です。次が7月3日の授業参観のときで、給食試食会を予定しております。あと、7回目は「英語でコミュニケーションDay」というものを参観していただくのですが、毎年参観していただくことで変化というのを感じられると思います。また、1月26日が学校評価についての協議になります。あとは体育祭とか合唱コンクールとかの学校行事を参観する日にちとなっています。9月25日に二中学区3校合同運営協議会がありますが、当番校が今年度は二中になっています。参加者は全員ではなく、PTA会長と小杉さん、学校側になると思います。以上です。
	【7 協議（3）情報交換】
小 杉	・それでは情報交換ということで、何かあればお願いします。
秋 山	・次回、体育着の刺繍の名札について、意見をいただければ幸いです。
小 杉	・次回、皆さんの画期的な意見をお待ちしております。
	【8 連絡・その他】
中 里	・ここで、地域学校協働活動推進員の海老原推進員の方から説明があります。
海老原	・推進員は、もう一人坪山がおりまして、2人で市内12校を担当していて、二中学区は私がメインの担当になります。2人でお邪魔することもあります。よろしくお願いします。地域学校協働活動の今年度からの取組として、市教委としては地域学校協働本部という組織を立ち上げていきたいと考えております。地域と学校とが連携し

<p>中 里</p>	<p>て子どもたちの成長を支えていくという取組で、地域と共にある学校づくりを一步進めて、学校を核とした地域づくりを目標として、本部を立ち上げることになりました。今年度はモデル地区として、国分寺本部の立ち上げに動こうということになっています。その後、石橋本部、南河内本部という風に立ち上げていきますのでご協力をよろしくお願いします。</p> <p>・これで本日の学校運営協議会が終了となります。次回は、5月21日の体育祭ということになりますので、実際に子どもの活動を見ていただければと思います。ありがとうございました。</p>
------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------